

PCパイプの施工方法

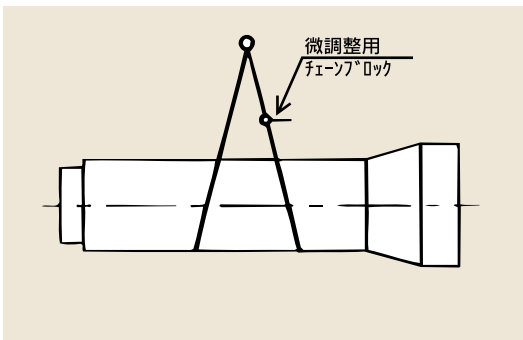
吊 卸 し

- (イ) 管は、吊卸るす前に基礎の仕上がり、勾配及び据え付けの高さを確かめ、吊卸しの後で修正を行うことのないようにする。
- (ロ) 吊卸し方法は、一般にトラッククレーン、クローラークレーンを使用する。クレーン能力は、施工半径と管の重量から決められるが公称能力は通常、管重量の3倍以上とする。
- (ハ) 吊卸しのロープ掛けは、一般に図に示すように2本吊とする。この場合、管の重心位置から2本のロープを振り分けると安定した作業ができる。

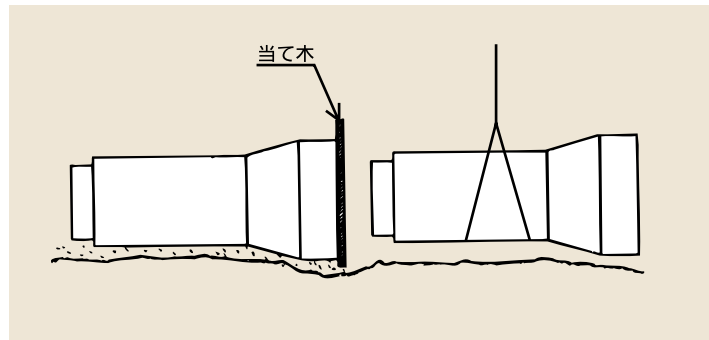
接 合

- (イ) 管は設計どおりの敷設とするため、管路の中心とレベルを出す。
- (ロ) 管は受け口及び挿し口に付着している土砂、ごみを取り除き、ゴム輪を挿し口に取り付ける。
- (ハ) 接合作業は図に示すようにワイヤーロープ及びレバブロック又はチルホールを設置したうえで既設管受け口に、吊り卸された管の挿し口を近づけて引き込み準備を行う。既設管にワイヤーロープを取付ける位置は、接合する管の2本目以上の管にすれば、既設管が動くようなことはない。引き込み器具（レバブロックなど）の能力は呼び径1350までは3t、1500～1800で5t、2000以上では5t2台が適当である。
- (ニ) 管の中心合わせの作業中は、図に示すように受け口と挿し口が衝突して管が破損しないように既設管の受け口部に当て木をあてて端部を保護する。

ロープの掛け方図



端部の保護図



接合方法

